

令和年6度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

川尻中学校区 校番26 学校名 川尻小学校

a 学校教育目標	郷土を愛し、 自立する子どもを育てる ～愛着・自立・貢献～	b 経営理念 ミッション・ビジョ ン	〈ミッション〉(学校の使命) ○大きな志をもち、社会に貢献する人材を育てる。 〈ビジョン〉(将来の学校像) ○つながり高め合う小中一貫教育を推進し、将来、幸せに暮らしていくために必要な学力と社会性を身に付けた児童生徒を育てる学校を目指す。
----------	-------------------------------------	--------------------------	--

c 中期経営目標を踏 まえた現状(進捗状 況)と今年度の重点	◆今年度の重点 ○基礎学力を確実に定着させ、授業改善を通して、学びに向かおうとする児童を育成する。 ○無言掃除を全校で取り組み、確認・振り返り・評価を行うことで、児童一人一人の意識を高め定着を図る。 ○ボランティア活動を推進し、学校・地域への愛着や貢献する児童を育成する。 ○食事マナーの定着を図り、食への感謝と正しい食の習慣を身に付けさせる。 ○時間外勤務時間を45時間未満にする。
--------------------------------------	---

育成を目指す資質・能力	「知識・技能」、 「思考力・判断力・表現力」、 「自立・郷土愛」
-------------	----------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)	自己評価
------------------------------	------

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方 策 (こんなことをして達成し ます)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成 値	j 達成 度	k 評価	i 達成 値	j 達成 度	k 評価
*** 確かな 学力	① 貫 基礎学力の定着 を図る。	○主体的な学びへ の授業改善 ○家庭学習の習慣 化	○「川尻小の授業モデル」の 定着を図る。 ○家庭学習の習慣化を図る 取組	・主体的に取り組んだ(自ら問い をもつことができた、対話によっ て自分の考えを深めることがで きた、自分の言葉で学びをまと めることができた)児童の割合 ・国語、算数の学期末テスト (知識・技能、思考力・判断 力・表現力)の正答率の平均 (2教科共に)	85% 85%						
** 豊かな 心	② 貫 自己指導能力を 育成する。	○生活規律の定着 <自律> ○夢や目標の設定	○黙々掃除の習慣化させる ための強化週間を設定し、 確認・振り返り・評価を行う。 ○夢や目標を具体的に評価 できるように設定させ、振返 りと改善を行う。	・黙々掃除に対する児童と 教師の肯定的評価の割合 ・夢や目標に向かって何か 努力している児童の割合	95% 95%						
* たくま しい体	③ 貫 健康的な生活習 慣の確立と体力 向上を図る。	○体力の向上 ○食育の推進	○運動量を確保した体育科 の授業を実施する。 ○外遊びを習慣化させる。 ○運動委員会による全校遊 びの企画・実施 ○くれチャレンジマッチスタジ アムへの積極的な取組 ○食に対して感謝し、食事の マナーを身に付けさせるため の給食指導を行う。	・新体力テスト県平均クリア 率 ・上位10位以内の学級数を 50%以上にする。 ・給食指導の強化週間を設 け、目標を達成する児童の 割合	上半期 70% 下半期 80% 100% 85%						

業務 改善	教職員が自らの意欲 と能力を発揮できる教 育環境の整備	児童生徒と向き合う 時間の確保	○見通しをもって職務をす る。 ○会議等の効率化を図る。	・校務を精選し、児童と向き 合う時間が確保できたと感 じる教職員の割合 ・時間を守ることができたと 感じる教職員の割合	90% 90%						
		長時間勤務の削減	○退校時刻の設定	・月の時間外勤務時間が45 時間未満の教師の割合	90%						

【k:評価】
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60